

お買物のおともに マイ・バッグ



買い物袋を持参しましょう!

阪神間各市では、資源のムダ使いやごみの減量化の一環として『マイ・バッグ運動』をすすめています。

お買い物のときは、レジでポリ袋をもらわず、お手持ちの買い物袋の使用を心がけましょう!

芦屋市消費者協会
芦屋市
芦屋市リサイクル推進会議

『マイ・バッグキャンペーンと フリーマーケットのお知らせ』

10月27日(日) 朝10時～午後3時
(雨天のとき 11月10日(日)に順延。)

市では、ごみの減量化を目指しJR芦屋駅北側ペデストリアンデッキにおいて、芦屋市消費者協会・芦屋市リサイクル推進会議と共に『マイ・バッグキャンペーン』を実施します。アンケートにご協力頂きますと携帯式の『マイ・バッグ』を進呈します。(数量に限りがあります。)

なお、あわせて家庭に眠る不用品等を持ちより芦屋市商工会女性部と市の共催により「フリーマーケット」を開催します。

コープこうべ

- コープデイズ芦屋店
- コープ浜芦屋店
- コープ打出浜店
- その他コープミニ店

「マイバッグ運動をすすめています」

資源の節約とごみの削減のために、1978年からマイバッグ運動を開始しました。
より多くの組合員に暮らしの中での省資源に取り組んでもらうため、1995年よりレジでは袋を基本的に渡さないことにし、必要な方には5円で購入してもらうことにしました。

コープこうべでは、来店するすべての組合員が参加できるこの運動を地道に続けながら、マイバッグを持ち歩くのが日常の風景になるよう、社会にもこの運動の大切さを発信しています。

「5円が環境活動に役立っています」

5円でポリ買い物袋をご利用いただくのも、マイバッグ運動への参加です。

ポリ買い物袋に5円をご負担いただいた気持ちを環境保全につなげていきたい、という思いから、買い物袋代金のすべてを地域の環境活動、社会的な環境の取り組みのために役立てています。

「リサイクル活動をすすめています」

「ものの命を大切に」のキャッチフレーズのもと、ごみの削減と資源の有効活用を目的に1990年、牛乳パックのリサイクル活動がスタートしました。

その後回収品目を増やしなが、アルミ缶・牛乳(紙)パック・食品トレーなどの回収ボックスを各店舗に設置してリサイクル活動をすすめています。

「その他の取り組み」

ISO14001を取得し、店舗で発生するごみの減量化に取り組んでいます。また、業務用ラップの非塩ビ化とさらに、商品にも塩ビラップの取扱いをしておりません。

組合員のみなさんに、引き続きこのような取り組みへの積極的な参加、参画をお願いしたいと思います。

ごいっしょに環境保全型社会を作るために頑張ってください。

芦屋市商工会女性部

「マイ・バッグ」運動において、女性部では「例えば、500人の消費者がマイバッグで毎日お買い物されたと、1ヶ月15,000ものポリ袋が削減され資源の節約になる。」と考え、同じ使用するなら使いやすいものと、色は黒、スーパーの袋がすっぽりと入る大きさ、傘入れやポケットを作り、肩から下げられる形にしたオリジナルバッグを製作しました。

芦屋市商工会女性部はこうした運動を通じて、環境にやさしい行動を消費者に呼びかけています。

問い合わせ：
芦屋市商工会
事務局 ☎23-2071



いかりスーパー 芦屋店

「簡易包装について」

水漏れ防止・商品保護のための透明ビニール袋やセロテープ、ギフト包装紙、お買い物袋等を使用させていただいておりますが、ご不要の場合、係員にお申しつけ下さい。簡易包装としてお客様のご要望に応じた包装、袋詰めをさせていただきます。

「お買い物バッグとリサイクルポイント」

お買い物時にいかりの紙バッグ、またはいかりのオリジナルバッグ(数種)等をご使用されますといかりシップカード(入会費、年会費無料)へ「リサイクルポイント」として10ポイント加算させていただきます。なお、ポイントにより1,000円分のお買い物割引券やお好みの景品等と交換させていただきます。

マイ・バッグ・キャンペーン(買い物袋持参運動)の一環として、いかりでは他社様のバッグでも「リサイクルポイント」を10ポイント加算させていただきます。

「ペーパー・TO・ペーパー」

いかりの手提紙袋(厚手)は牛乳パックおよび再生紙からできています。使用に耐えなくなったものは回収のうえ、加工され再び紙製容器としてデビュー致します。

「牛乳パック・トレーのリサイクル」

お店の入り口に設置しております「リサイクルボックス」に使用済の牛乳パック、食品トレーを資源として回収しております。

トレーは白、柄物いずれも再生できます。白は白トレー・木目トレーに、柄物は黒トレーに、生まれ変わります。又、ペンスタンド、植木鉢、盆などのプラスチック製品ができあがります。再生トレーには「エコマーク」が印刷されています。

限りある資源を大切に。いかりのエコロジー活動です。

大丸ピーコック

- 芦屋南宮店
- 芦屋川西店

「レジ袋削減のため、マイバッグ運動の推進」

お買い物袋ご持参運動を全店で積極的に進めています。
レジ袋を辞退されたお客様にはスタンプカードを配布したり、ピーコッククラブカード会員様にはお買い物ポイントに加えて5ポイントのエコポイントを差し上げています。

「店舗から出るごみの減量化」

いろいろな商品を提供する間にどうしてもごみが発生してしまいます。

作業場で出る魚のアラや廃食用油などはリサイクルすることで食品廃棄物を削減しています。

また廃棄物の量を減らすために、店舗では仕入れや販売の方法に工夫をこらしています。

「バラ売り商品の拡大、簡易包装」

トレーなどの包装資材を削減するため、野菜やお惣菜などのバラ売りを進めています。

バラ売り商品の拡大は「好みの商品を必要な分だけ買いたい」というリクエストに応えることにもなります。

また贈答品などの簡易包装も進めています。

「業務用ラップを非塩ビ化」

店内加工の食品用ラップをすべて燃やしてもダイオキシン類が発生しない、非塩ビ系のポリオレフィンフィルムに転換しました。

「地域のお客様と共にリサイクル」

包装容器の回収活動にご協力ください。
大丸ピーコックでは地域のリサイクル活動の一環として、食品トレー、牛乳パックの店頭回収を行っています。

小さな1歩が
大きな進歩へ
各お店のご紹介

ダイエー 芦屋浜店

販売活動で発生する包装の削減

基本3原則(包装しない・再利用・再生利用)をもとに活動を進めています。

基本3原則

- Reduce (リデュース) 減量・減容
包装材を使用しない 使用するなら最小限
- Reuse (リユース) 再利用
再利用できるものは繰り返し利用
- Recycle (リサイクル)
使用したものは可能な限りリサイクル

「お買い物袋持参運動」

お買い物袋をご持参し、お申しいただくスタンプカードにスタンプを押印。スタンプが20個になると、100円値引き券としてご使用できます。全売り場で実施しています。

「簡易包装の推進」

資源のムダ遣いをなくし、ごみを減らすためにギフト包装では簡易包装をすすめています。

「お買い物袋不用カードの設置」

あらかじめ店内に設置し、袋不要のお客様がレジでお買い上げ商品と共にカードをセルフカゴに入れていただくと、袋をお渡しいたしません。

「新規販売方法の展開」

新店舗・改装店舗を中心に鮮魚の対面販売、野菜の量り売りを導入し、包装材の削減に努めています。

「エコロジーバッグの販売促進」

お買い物袋持参運動のお手伝いとして、繰り返し利用できるエコロジーバッグを品揃えしています。

「2002年度の目標」

簡易包装率93%、お買い物袋持参率15%を目指します。

「店頭回収箱を設置してリサイクルの促進」

各店頭回収ボックスを設置して、アルミ缶・紙パック・トレーを回収しています。
なお、芦屋浜店ではアルミ缶の減容機を設置しています。



ゴミと生活



西芦屋町在住
芦屋市リサイクル
推進会議委員
京都産業大学・文化学部
教授 水田 和生

厚生省の報告によると、全国のごみの排出量は年間約五千万トンで、これは一人一日当たり換算するとやく一・一一キログラムである(一九九七年)。

その中で、紙ごみ・ビニール・プラスチックが増えているというところらしい。コンビニで、アルバイトを始めた学生が、驚いたことは、時間が来れば廃棄される食品とその包装用のプラスチック容器の多さであった。そんなことがあつて、毎日の買い物で使われるレジ袋(ポリ買い物袋)の多さが気になり出した。プラスチックやビニール製品の多さだけでなく、それらは自然に帰らないので、川や海辺にあふれているのが、見えてきた。

レジ袋やペットボトルが巷に溢れている。芦屋川も例外ではない。よく散歩するので、見てみると、ペットボトル、レジ袋、アルミ缶が目に入らないときはない。幸い(?)レジ袋を飲み込んで、水鳥が死んでいたというような報告はないようだが。日本の近海はプラスチックのゴミで溢れている。ある学生は、海水浴について、気がついてみると、「一緒に泳いでいるのが、魚ではなく、レジ袋だった。」なんて想像するとぞつとすると話していた。

五千万トンの行方!? 出す所は、家庭ばかりでなく、生産拠点や多数の人々が働く場所がある。生産のほうでは、工場になる。この地球の資源を大量に採取し、生産し、消費するシステムは、豊かさを演出してきただけでなく、限りなくゴミ(廃棄物)を出しつづけることを意味する。その処理のために大量のエネルギーを使う。今や、原発から出る高レベル放射性廃棄物処分問題も、広い意味で、ゴミの問題として、避けて通れない。豊かさを支えてきた人間活動のことである。

三種の神器ということばも、もう使い古されて、捨てられた表現なのだが、テレビ、冷蔵庫、洗濯機が普及したことは、生活を豊かにした。

広まる過程が大量生産・大量消費経済なのだ。クーラー、カラーテレビ、カーが3C、憧れの消費物として、普及したのは、高度経済成長のお陰ではあつた。

ところが、クーラーの排出する熱気は街をどろろすることもできないくらいに埋め尽し、道路から溢れるばかりの自動車は、人身事故を起こし、排気ガスで道路周辺住民の肺をゆっくりと冒していく。

進化するのはいいことだと、テレビも形を変え、品を変えて、広く普及した。かくして、テレビのない家庭はなくなり、テレビのコマーシャルは「使い捨ては美德ですよ」と人々を誘惑した。その間に、テレビは子供たちの王様になり、親子の会話はテレビに取り上げられてしまった。クーラーはちよつと暑くなれば、すぐ冷房してくれるようになり、うちわを手につく夕涼みという風景は古ぼけた記録写真の一枚になつてしまった。そうして物が巷に溢れるようになった。その中に「使い捨て」商品がある。

使い捨てといえば、私自身、ものを書くと言ふことで、先端技術商品とこんな付き合いをしてきている。手書き、ガリ版、タイプライター、ワープロ、パソコン、パソコンのバージョンアップである。一番基本の手書きを除いて、今使っているパソコン以外はゴミになつてしまった。そして、これらの物を処理するのが有料の時代になつた。これが、大量生産・消費の厚い記述である。

捨てられるものが巷に溢れているのは、海に向こうでも同じようだ。

「ゴミの首都」ニューヨーク、とかく話題になるニューヨークの話—このタイトルは、レスター・B・ブラウン氏の率いる「地球政策研究所」ニューズレターの記事のひとつで、要約すると、この街では一日一万一千トンものゴミを排出するのだが、ブルームバーグ市長がその中の金属、ガラスやプラスチックのリサイクルを止めることを提案したというのだ。そうならば指定の埋立地がすぐ満杯になり、近くや遠くの州の処分場までゴミを運ばなければならぬことが話題になつていく。考えて見てください、長距離輸送のごみ収集車で、一台二十トン運べるとして、一日のゴミを運ぶのに、そのトラックが五百五十台いる。この種のトラック五百五十台をつなげると、十キロを超える長さになり、交通渋滞、空気汚染と排気ガスの増加、といった

『家具類と自転車のリサイクルフェア』

会場 芦屋市環境処理センター
品目 家具類約70点・自転車約30台を予定しています。
開催日 11月7日(木)・8日(金)・9日(土)・10日(日)の4日間
時間 午前9時30分～午後4時30分
(お昼休み 12時～12時45分)
申し込み 自転車・家具の何れか、1世帯1品目の申し込みに限ります。
※重複・代理等の申し込みはできません。
抽選日 11月11日(月)午後1時30分～
費用 修理費用の一部をご負担頂きます。(10,000円以内)
引き取り リサイクル品の引き取りは各自で行ってください。
問い合わせ 芦屋市浜風町31-1 環境施設課 ☎32-5391

ことなしの、「まるで軍隊の作戦活動になる」という。

この採取—生産—消費—廃棄のサイクルが見えにくい。見えにくい部分が、自分の生活を見直すことによつて、自分の活動と共にあることを知るだろう。身の回りを直すだけでは、サイクルの向こうはまだ見えない。それで同感の人々や行政等からも情報を得て、大きなネットワークが動き始めればよいと希望する。

例えば、5R(リデュース、リユース、リサイクル、リフューズ、リペアー)を押し進めることが、よりよい社会を次の世代に引き継いでもらう活動への転換になるだろう。このことに気がついてくれればと、この種の雑感を見えるものにしてきた。

その趣旨を汲んでもらつて、この広報紙はますますゴミにして捨てないで欲しい。

「千と千尋の神隠し」のオクレサマの姿は、凄かった。ゴミを食つて、ポテポテになった、ヘドロにまみれた白龍。それが風呂で、千尋に洗われて、きれいな白龍になつて飛んで行く。宮崎氏はいふ、「日本の河の神様たちは、本当にああいう姿で、悲しく、切なく生きていますだと思つています。この日本の島で苦しんでいるのは、人間だけじゃないんですよ。」

はじめませんか!

「資源ごみ集団回収」

限りある資源のリサイクル!

- 回収品目 新聞・雑誌・段ボール・牛乳(紙)パック・古布・缶・ビン
(一般家庭からでる資源ごみを対象としています。)
 - 登録資格 20世帯以上が参加 月1回以上定期的に回収を行う。
※マンションも対象になります。
 - 報奨金 回収された資源ごみ1キロについて6円の報奨金を交付。
 - 平成13年度は約3,688トンの資源ごみが回収、リサイクルされました。
 - 自治会の活動費、マンションの修繕積立金、子供会の費用などに活用頂けます。
※仕切票のなくなった団体はご連絡ください。
- 問い合わせ(環境施設課 ☎32-5391)

